

年間学習指導計画作成資料 第3学年〈2・3下〉【サンプルB】

題材名	題材のねらい	指導事項	目標に関わる 主な窓口	教材名 (●鑑賞教材 ◎器楽教材)	学習の目標 (教科書掲載)	扱い時数 のめやす
言葉と旋律の関わりが醸し出す豊かさを求めて	・歌詞にこめられた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫する。	歌唱—ア・イ	旋 強 色	花の街 (心の歌)	詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現しよう。	3
		創作—ア	リ 旋 形・構	My Melody	詩に旋律をつけてみよう!	
曲種に応じた歌い方の工夫	・楽曲の特徴を感じ取り、それにふさわしい発声や歌い方を工夫して歌唱表現をする。	歌唱—イ	リ 旋 強 色	L-O-V-E	曲の感じに合った声で、リズムを工夫して歌おう。	3
		歌唱—ウ	旋 テク	ここが分かれば Grade up! 上を向いて歩こう	言葉によって変化するリズム 曲の感じに合った歌い方や発音を工夫しよう。	
リズムパターンで構成する音楽の楽しみ	・リズムパターンに関心を持ち、パターンどうしを組み合わせで演奏したり、全体のまとまりを工夫しながら音楽を構成したりする。	器楽—イ・ウ	リ テク 強 速 形・構 色	◎Bittersweet Samba ◎エル クンバンチェロ ◎「寄せの合方」によるリズムアンサンブル	(いずれの教材でも、旋律の特徴を感じ取り、それに合わせて生徒自らがリズム伴奏を工夫する活動が可能である。)	4
		創作—イ	リ テク 強 速 形・構 色	Let's Create!	楽器を使って、2人のやりとりをアンサンブルにしてみよう。	2
名曲の成立背景を探る	・作品の成立した背景から、他の芸術との関連や作品の本質を理解する。	鑑賞—イ	リ 旋 強 速 色	●「レクイエム」から“涙の日” ●エチュード ハ短調 (「革命」) ●交響曲第9番「新世界より」 ●「春の祭典」から“序奏”～“春のきざし”	曲の背景を知って、名曲を味わおう。	2
ポピュラー音楽の魅力とその表現の工夫	・さまざまなポピュラー音楽について、それらを形づくっている音楽の要素を感じ取りながら鑑賞したり、表現の工夫に生かしたりする。	鑑賞—ウ	リ 旋 テク 色	●ポピュラー音楽	ポピュラー音楽を聴いて、その特徴を味わおう。	4
		器楽—ア・ウ	リ 旋 テク 強 速 形・構 色	◎Yesterday Once More ◎Yesterday 他		
名曲の鑑賞とプレゼンテーション	・音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなど	鑑賞—イ	旋 テク 速 色	●ブルタバ (モルダウ)	オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取ろう。	4
		鑑賞—ア	リ 旋 テク	●白鳥の湖／●フィガロの結婚	曲のよさをプレゼンテーションしてみよう。	

	を感じ取り, 楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表してコミュニケーションをとる。		強 速 色			
近代日本の音楽事情 —西洋からの受信と日本からの発信—	・明治から現代に至るまでの音楽の変遷を通して, 学校教育及び一般社会の場にどのように迎え入れられたのか, また日本から世界へどのような発信がなされたのかを知る。	歌唱—ア・イ (鑑賞—イ)	リ 旋 強	花 (心の歌)	歌詞の内容を理解して, 強弱を生かした表現を工夫しよう。	2
				特集 国境を越えて影響し合う音楽 (赤とんぼ) (七つの子) (ノヴェンバー ステップス)	○ 明治維新後, 西洋音楽の吸収が始まった ○ 日本の伝統音楽にも変化が生まれた ○ 童謡運動によって, さらに音楽の裾野が広がった ○ 戦後, さらに新たな吸収が始まる ○ 日本から世界へ向けた新たな発信	
日本の伝統音楽の味わい	・雅楽や能の特徴について, 様式を含めて理解し, それらの特質や魅力を味わって聴く。	鑑賞—イ・ウ (歌唱—イ)	リ 旋 テク 速 色	●平調「越天楽」／●羽衣	日本の伝統音楽に親しもう。 —雅楽と能の音楽—	2
混声合唱へのステップと指揮 —さまざまな曲想の表現—	・音楽を形づくっている要素を知覚し, それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。 ・指揮を通して表現の工夫をする。	歌唱—ア・イ・ウ	リ 旋 テク 強 速 形・構 色	全校合唱・ふるさと 心通う合唱		9
		内容の取扱い 2 (6)		指揮をしてみよう!	指揮は, (中略) アンサンブルを整えるために必要なものです。さらに, (中略) 豊かな表現ができるようにするという大切な役割も担っています。	
				[国歌] 君が代		時数合計 35

※「特集 ルールを守って音楽を楽しもう！」については, 適宜指導計画に含める。